



令和4年度 学校だより

伏見板橋 後期 学校評価

令和5年3月1日
京都市立伏見板橋小学校 TEL 075-611-5158 FAX 075-611-5290
校長 竹原 正樹 mail: itahashi-s@edu.city.kyoto.jp



1月に行った学校評価アンケートでは、多くの保護者の方々から回答をいただきありがとうございます。本校児童につけたい資質・能力を「自己指導能力」と定め、自己指導能力を高めていくための手立てとして、生徒指導の三機能（自己存在感を与える・自己決定の場を与える・共感的な人間関係を育む）を活かした教育活動を実践しております。そのような中で「新しい学校づくり」「よりよい学校づくり」の為に学校評価を行いました。お忙しい中、保護者・地域の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

保護者・地域の皆様、それぞれの立場からのご意見を集約することができました。この結果を教職員一同で共通理解し、よりよい学校づくりのために改善を図っていききたいと思います。結果の顕著な部分を取り上げ、考察等をご報告させていただきます。その他、ご不明な点や不安な点がありましたら、ご遠慮なく学校の方へお尋ね下さい。 ※太字で示している数値は前期より上昇した数値です。

	「学校教育目標」 夢をもち、 自らの未来を創る 子どもの育成 ～考え 判断し 実行する～	よく(とても)					どちらかといえば					あまり					出来ていない(ない)								
		低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員
決	3 あなたは、きょうみや関心をもち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	62%	40%	32%	33%	11%	45%	28%	49%	52%	53%	78%	55%	9%	10%	14%	14%	11%	0%	1%	1%	2%	0%	0%	0%
	5 あなたは、自分の考えをみんなに伝えてありますか。	46%	34%	24%			36%	33%	43%	47%			59%	17%	22%	26%			5%	4%	1%	3%			0%
	13 あなたは、当番やかかりの仕事を最後までやり遂げていますか。	81%	75%	56%	24%		36%	15%	24%	43%	60%		64%	3%	1%	1%	14%		0%	1%	0%	0%	2%		0%
共	7 あなたは、友だちが発表しているとき、うなずいたりしながら話をよく聞いていますか。	82%	54%	44%			55%	15%	41%	49%			41%	2%	5%	6%			4%	1%	0%	1%			0%
	10 あなたは、友だちと話し合いをしながら学習できていますか。	63%	65%	53%			64%	30%	31%	42%			36%	6%	4%	4%			0%	1%	0%	1%			0%
存	9 あなたは、友だちと学習するのは、楽しいですか。	90%	80%	66%			73%	8%	17%	28%			27%	2%	3%	4%			0%	0%	0%	2%			0%
	14 あなたは、学校が楽しいですか。	76%	66%	55%	52%	10%	41%	17%	24%	38%	41%	90%	59%	6%	8%	5%	7%	0%	0%	1%	2%	2%	0%	0%	0%
	11 先生や友だちは、あなたのがんばりをほめてくれますか。	52%	55%	52%	54%	40%	68%	35%	36%	42%	41%	60%	32%	12%	6%	5%	5%	0%	0%	1%	3%	1%	0%	0%	0%
自尊心	15 あなたは、自分のことが好きですか。	52%	37%	27%	51%	20%	27%	22%	38%	37%	47%	80%	68%	17%	15%	26%	2%	0%	5%	9%	10%	10%	0%	0%	0%
	16 あなたは、自分のよいところがわかりますか。	57%	39%	28%	35%	0%	27%	30%	39%	38%	53%	56%	68%	10%	15%	22%	12%	44%	5%	3%	7%	12%	0%	0%	0%
	17 あなたは、自分のなおした方がいいところがわかりますか。	59%	66%	65%	28%	0%	23%	25%	25%	27%	50%	44%	64%	12%	7%	7%	21%	56%	13%	4%	2%	1%	1%	0%	0%
	22 あなたは、失敗をおそれず、いろいろなことにチャレンジしていますか。	66%	40%	25%	22%	0%	23%	25%	48%	49%	53%	90%	55%	7%	10%	23%	24%	10%	22%	2%	2%	3%	1%	0%	0%

「自己決定の場を与える」(決)について

問3「あなたは、きょうみや関心をもち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。」では、(低)90%(中)89%(高)84%と、前期に比べ数値が上昇していることから、より子どもたちが主体的に学習に取り組んでいることが分かる。教職員の認識としても児童と同程度の90%ということから、各教師の授業展開の工夫への取り組みが児童の成果へとつながっていることが考えられる。これからも学習において自ら決定し実行する経験を積み重ねることによってさらなる自己指導能力が育成されると考えているので、低・中・高の約15%の児童への学びの支援を大切にしていきたい。

問5「あなたは、自分の考えをみんなに伝えてありますか。」で「自分の考えを進んで発表している方だ」ととらえている児童が(低)+6%(中)+4%(高)+8%とすべての学年段階で上昇している。日々の授業で、言葉をはじめ多様な表現で友だちへ伝えることの大切さを理解してきたからだと考え。これから学びを進めて行く上で、できるだけ分かりやすく伝える技術の習得は、自己指導能力を育てる上で大切なことなので、低・中の約2割、高の約3割の児童への支援を来年度への課題としていきたい。

「共感的な人間関係を育む」(共)について

問7「あなたは、友だちが発表しているとき、うなずいたりしながら話をよく聞いていますか。」では(低)97%(中)95%(高)93%と数値を前期よりさらに伸ばし、問10「あなたは、友だちと話し合いをしながら学習できていますか。」では低93%、中・高95%と対話を通して深く学び合える子の育成を教職員が1年間目指し取り組んできたことが子どもたちの成長につながったと考えている。子どもたちが相手の立場を尊重しながら意見や考えを聞き、学習を進めていくことをこれからも大切にしていきたい。

「自己存在感を与える」(存)について

問9「あなたは、友だちと学習するのは、楽しいですか。」は95%以上、問14「あなたは、学校が楽しいですか。」は90%以上の児童が「あてはまる」と肯定的に回答している。前期よりさらに上回る結果が出た。学習場面・生活場面と友だちとの関わりの良さを感じ、友だちから大切にされていると感じていることが分かる。一方で、約1割の児童が否定的に回答していることを見逃さず、学習での困り、友だち関係の悩み等に対し寄り添い支援を続けていきたいと思う。